

障害者スポーツチーム シンポジウム2020 ～広げようスポーツの輪～



2021年1月17日(日)
10:00-14:00

参加無料 (どなたでもご参加いただけます)
登録はオンラインにて

https://va.apollon.nta.co.jp/japosymposium_2020/



当日のお申し込みも可能です

Tokyoパラリンピック2020をきっかけに障害者スポーツへの関心が高まる一方で、障害のある方々のスポーツ参加に必要な人的・経済的支援、環境の整備、用具の利用は十分に整っているとは言えない状況にあります。

本シンポジウムでは、障害者スポーツチームの運営や支援にかかわっておられる方々をお招きし、各チームの運営等に関する知見を集積・共有すると共に、共通の課題の解決についてディスカッションすることを目的にしています。

当事者の方々だけでなく、障害者スポーツの支援に広くかかわられている方々、行政に携わる方々のご参加を心よりお待ちしております。

シンポジスト

地域における障害者のスポーツ環境について

小淵 和也

笹川スポーツ財団 政策ディレクター

NPO法人D-SHiPS32の取り組み

上原 大祐

NPO法人D-SHiPS32 理事長

障害児のチャレンジを支える
～ハビリスジャパンの取り組み～

藤原 清香

一般社団法人ハビリスジャパン 理事 (医師)

アスリートによる普及活動の意義

田中 時宗

一般社団法人センターポール 代表理事

スタートライン Tokyoの取り組み

駒場 佳世子

スタートライン Tokyo 理学療法士

東北で活動する義足スポーツサークル
Ambeins (アンベインズ) の取り組み

佐藤 陽介

アンベインズ 代表、理学療法士

参加者の遷移、オスランニング教室の場合

沖野 敦郎

OSPO 代表、義肢装具士

アンプティサッカークラブ・FC ALVORADA
の活動と義肢装具士の関わり方

野口 魁

アンプティサッカークラブ FC ALVORADA
監督、義肢装具士